

縁をつなぎ 安心をとどけるお寺

清元院だより

第12号

本堂前庭

地蔵

供養とは

自分の生き方をお供えすること

Q…亡くなった大切な方は、何をお供えしたら一番喜んでくださると思いますか？

それは、あなた自身です。私はそう思います。仏の役目はたった一つ、「人々の幸せと安心を願うこと」です。自分の命をつなぎ縁をつないだあなたが懸命に生きている姿を見ることが一番うれしいのです。もちろん幸せに生きている姿をお供えできたら一番良いですよ。

お釈迦様は、幸せに生きる方法を「よいことをたくさんして、心をきれいにすること」だとおっしゃいました。誰かの役に立つ、誰かに喜んでいただく生き方をする。そうやって幸せに生きる姿をお供えできたらうれしいですよ。

でも、現実はずらかったり悲しかったり、悩んだり困っていたりする時の方が多いかもしれません。そんな時はその姿をそのままお供えするのです。だって仏の役目はあなたの幸せと安心を願うことですから、あなたのためにきつと祈ってくださいることでしょう。

どうぞ静かに手を合わせて、どんな姿でも「自分の生き方」をお供えください。大切な方にはじっくり微笑んでくださるはずですよ。

● お寺で結んだ「ご縁」のはなし口

● お寺ニュース

● お盆の作法

● メダカ・グッピーすくい！

● 行事予定

発行…曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之
佛歴2563年 令和2年8月1日



1周忌法要

限定公開

リモート供養でつながる心

新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、清元院行事の中止・縮小、法事の延期や少人数での実施など現在も様々な変化が続いています。

清元院では、以西地区外のお檀家が全体の23%あり、その割合は年々増加しています。これまでは葬儀など可能な限り、全国どこへでも出向いてお勤めしてきました。しかしコロナ禍で、関東から九州まで全国各地におられるお檀家の供養がままならない事態が続きました。「父の法事を拜んでやりたいが関西からは帰れない」「県外で亡くなられたが、移動が制限されていて清元院住職が葬儀に行くことができない。」など、感染拡大防止のため、亡き方への深い思いを伝える場を設けることができない状況が続きました。

「何とかその思いに寄り添いたい。何か方法はないものか？」そう思ってた手探りで「リモート供養」にチャレンジしました。(※リモート＝離れた)

大阪におられるお檀家さんのお父様の命日に、清元院本堂で法話をし法事をお勤めして、その様子を動画撮影して限定公開のYouTubeにアップ。(限定公開だと「コソ」をお知らせした人だけ見ることができます。)また、大阪で亡くなられた方の七日拌みをDVDにして送付したり、四十九日法要を「ZNM」のビデオ通話を使って清元院と大阪をつないで生中継したり…。

でも、私一人でカメラに向かって法話し、法要を勤める…「こんなことは独りよがりの自己満足なのでは…」と不安になることもありました。

お寺で結んだ「ご縁」のはなし II

ところがなんと、好評だったのです！

お忙しい中、供養していただきありがとうございます。ありがとうございました。見させていただきましたが、母も大変喜んでいました。動画を見ながら一緒に供養させていただいた気持ちになりました。お寺の風景が分かっているのが臨場感があってとてもよかったです。

昨日は本当にありがとうございました。弟夫婦も喜んでいました。いろいろお世話になり心から感謝しております。これからもどうぞよろしくお願いします。

…とありがたいお返事をいただきました。「場所と時間が違ってても、供養する気持ちが一つになれば、心はつながることができる」と確信しました。

まだまだこの状況は続きそうな様子です。今後も、以西地区のお宅やお寺で行う法事でも、参列したくてもできない方とリモートでつながるなど、さらなる工夫をして皆様の心をつないでいきたいと思ひます。



本がっないだご縁 その二

娘がまだ小学生だった頃、娘を連れて清元院の写経写仏の会に参加しました。その時に『ブツダがせんせい』という本をいただきました。

娘にとってこの本はバイブルで、学校でも『ブツダがせんせい』を紹介したこともありました。担任の先生にも、「あの本との出会いから変わった。」と娘について言ってもらい、自分も周りも大切にできるようにになりました。その娘も、もう高校受験です！ 息子も高校野球でベンチ入り果たせて、毎日一生懸命練習に励んでいます。また、清元院におじやまさせていただけたらなあと思っっています。お体に気をつけられて、ますますのご活躍を願っております。

(2007年に写経写仏の会に参加された方より)

お釈迦さまのメッセージが2500年の時を経てなお、人を育てるのだと感激しました。清元院がお釈迦様と娘さんのご縁をつなげることができて、本当にうれしです。



お寺二ユース

本堂にエアコンつきました。



エアコン4台を本堂に設置しました。

清元院の本堂は、南側が壁になっていたので風通しが悪いのです。近年、夏季の猛暑が当たり前になる中、

業務用扇風機だけでは法要中に熱中症になる方も出るようになりました。そこで皆さんの健康を守るため思い切って設置しました。

これで、夏でも安心してお葬式・法事・法要を清元院本堂でお勤めいただけます。

シロアリ駆除しました。

15年前にシロアリが発生し、本堂と庫裡の床下換気口と床下の補修を大掛かりに行いました。しかし近年、またお寺全体の床下にシロアリ被害が広がっていることが



分かりました。シロアリはお寺の土台を脅かす恐ろしいものですので、護持会常任委員さんの判断で急遽7月29日からの3日間で駆除を行いました。これでまた安心が一つ増えました。役員の皆様ありがとうございました。

7/18 琴浦こども塾がやってきました。

琴浦町主催、スポ少の文化版「琴浦こども塾」が今年も清元院にやってきました。

本尊さまにごあいさつのお勤め↓坐禅↓以西小学校前身の「今治小学校」について学びを深めました。①お寺が小学校だった②以西の子どもの3分の1しか行かなかった③女子はとも少なかった④教科は今と違うなど、お寺に残っている実際の資料をもとに興味を持って学びを深めてくれました。



【令和2年度棚経予定】

8月7日	赤碕・東伯	
8月8日	米子・北栄・倉吉・鳥取	
	7時から	13時から
8月9日	大父	平田平→大父木地
8月10日	山川	山川木地
8月11日	国実	大熊
8月12日	金屋	竹内
8月13日	宮木	

【棚経とは…】

お盆にご先祖を迎え入れる飾り棚のことを精霊棚（盆棚）といいます。ですから、住職がお檀家を一軒ずつ、棚や仏壇を拝んで回ることを棚経というのです。以西地区でも盆棚作りを続けて、伝統を大切にしておられる家もあります。

お盆の作法

※清元院の場合

【お盆には】

◆13日までに

- ・お墓・お寺の位牌堂のそうじをして準備します。
- ・外（または仏壇の前）に盆棚を作ります。

◆13～15日…墓、お寺参り

- ※お墓と同じように位牌堂にもお参りします
- ※お寺参りの際は、お供えと棚経のお礼としてお布施（盆礼）を持っていけます。

◆13日夕方…迎え火

◆14日…14:00 初盆合同供養法要

◆15日…11:00 戦没者慰霊祭

◆15日深夜または16日早朝…送り火

- ※送り火で、経木塔婆（薄い板の塔婆）と一緒に焚きます

【棚経のお願い】

- ◇仏壇の正面の縁側（おもて）を開けておいてください。（閉まっている時は外から拝みます）
- ◇仏壇を清浄にして花を飾り、お供えをしましょう。
- ◇読経中はテレビを消し、一緒に手を合わせましょう。

※短時間で失礼しますが、相談事やお困り事があれば、遠慮なく声をかけてくださいね。



【注】グッピーは熱帯のメダカ（熱帯魚）です。10月には屋内の水槽に移し、加温が必要です。

今年も増えました！
・銀色のメダカ 約500匹
・グッピー 約500匹
今年もやります！
○8月13～15日
○本堂前
○一人5匹まで
○金魚すくいと同一やり方です。

お盆に大好評！
メダカすくい
グッピーすくい

月例会

◇写経写仏の会

・第1日曜 午後3時
参加費 実費300円

◇坐禅会

・第3日曜 午前6時
朝粥付 実費300円

◇お寺ヨガ

・第4水曜 午後7時30分
参加費 1500円

12月までの行事予定

- ◇9月19日 彼岸の入り
- ◇9月22日 彼岸の中日
- ※8～16時先祖供養（希望者）
- ◇9月 お地藏様作り教室（中止）
- ◇10月1日 月明かり茶会（中止）
- ◇10月11日
 - ・永代供養合同法要 13時半
 - ・永代供養墓見学会 14時半
- ◇12月31日 除夜の鐘
年越しそば



清元院
住職 井上 英之

〒 689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木 57
Tel 0858-55-7063 fax 0858-55-7064 携帯 090-4923-8768
メール inoterai@mx1.tcbnet.ne.jp facebook :井上英之・清元院